

子育てネットワーク部会通信

こころをつなぐ

【第6号】

生活に“音楽”を 第1回子育て ネットワーク部会 開催!

今年度は、10月7日に、古川町コミユニティセンターの大会議室において、第1回部会を開催しました。

今回は「音楽の力は無限」をテーマに、市内でピアノ教室を開き、長年にわたり

音楽活動を続けていらっしゃる高橋美津子様を講師に迎え、講演と実演をいただきました。講演内容は、音楽を聴くこと・歌うことによる効果、手遊び・リズム遊びによる効果を教えていただきました。

曲調によって、悲しみを軽減したり集中力を高めたりすることがあること、歌うことによってストレスの解消や脳の活性化につながることを教えていただきました。

音楽によって得られる効果の説明を聞いてから、参加者で実際に歌ったり手遊びしたりして、頭も身体もフル活用して実践しました。まずは、「紅葉」や「赤とんぼ」など季節を感じる歌を歌いました。「村のかじ屋」と「村祭り」では、輪唱をし、ついつい引つ張られそ

うになりながら、皆で歌うことができました。手遊びでは、誰もが子どもの頃に一度はやっているであろう「アルプス一万尺」をしました。段々と曲を速めて遊ぶのに、ついていくのが大変でしたが、子どもの頃を思い出し、真剣になっていました。

リズム遊びでは、リコーダーを使って「猫のピート」を演奏。歌う人と演奏する人に分かれてみんなで楽しめました。絵本の物語を読んでもらいながら、歌のパートになるとみんなで演奏するというのも、なかなかできない体験で楽しかったです。

最後は、ハンドベルを一人一つ持って「ドレミの歌」を演奏しました。リズムやタイミングを合わせて、きれいにも楽しいものです。

今回は、ただ講演を聞いて学ぶというだけではなく、実際に参加者全員で歌ったり遊んだりし、とても短く感じるほど楽しい時間でした。次回も、ぜひ部会員だけでなく、他の市民の皆さんや特に親子を対象に子どもも含めて開催できるといいなと感じました。

今後とも日々子育てに頑張る方をみんなで支える地域づくりを推進するため、各種体制を整えることを目指し、情報交換や研修会をしていきたいと思えます。(長瀬)



★家庭教育・子育て支援情報★

岐阜県では、家庭教育情報をまとめてアクセスのしやすい特設サイトを開設しています。子育てで参考にできる動画コンテンツの視聴や各地域の家庭教育の取組みを見て参考にするなど様々な用途でご活用いただけます。下の二次元コードからご覧ください。



飛騨市では、子育て支援に関する情報サイト「子育て支援ガイド」を開設しています。医療機関や相談窓口が一覧で見られるほか、目的ごと・年齢ごとで調べることができます。また、飛騨市で発行している子育てガイドブックの電子書籍版も閲覧が可能です。詳しくは、下の二次元コードからご確認ください。



★取組み紹介「やってみよう実行委員会」

幕に歴史の20回 子ども ぞうきん コンテスト

私が平成18年から実施してきた「子どもぞうきんコンテスト」が第20回の今回をもって終了した。子どもぞうきんコンテストとは、子どもに「もったいない」という物を大切にする気持ちと手仕事の面白さや大切さを学んでもらいたいという想いで開催してきた。小学生から高校生までに「実際に使える」ぞうきんを募集し、ぞうきんの仕上げのほかに、刺繍等のアイデアや使いやすさをポイントに審査し、市長賞や教育長賞、ユーマア賞などを決める。

この20年間で合計5,924枚の応募があり、それらの作品は、毎回様々なところに寄付してきた。

市内各所への寄付のほか、台風被害の大きかった年には熊野市に、大地震のあった年には熊本県、大火事のあった糸魚川市、東京オリンピックが開催される際には葛飾区、最近だと能登地震の際に被害のあった穴水町へ寄付してきた。また、コロナ禍ではぞうきんをマスクに変更して募集するなども行った。最終回の今回は、飛騨市へ寄贈し、市から友好都市の台湾・新港郷へも贈られるそうだが、また、終了記念でぞうきんがけ大会も実施した。



20年前、子どもたちが「ものづくり」をしなくなったかと思いき、このコンテストを始めました。親の負担がなく、家庭にあるものを



利用して何かを伝えられた。20年はあつという間でした。

子どもたちがあれだけやってくれるとは思っていませんでした。出される作品が毎回楽しくなってきました。しかし、年々飛騨市内からの参加が減ってきたので、20回である今回を区切りとして終了することとしました。

しかし今年は、最後に記念して、飛騨市図書館でぞうきんがけ大会を開催しました。6組が参加してくれ、大盛り上がりで次回もやろうとなり、うれしい限りです。これからも「ものづくり」を続けていこうと思えます。(竹本紀美子)

音楽を心ゆくまで

昨年4月に社会教育委員を拝命しました、大変年を取った人間です。それもまさか子育てネットワーキング部会の任を頂くとは思っていませんでした。そんな中で今年度は、音楽に関することをテーマに部会を行いました。

私自身、音楽というと、昭和時代のロックや歌謡曲を日々好んで聞いています。朝起きたらまず、ラジオを聞きながら新聞を読み、朝食を食べ、夜は帰って来たらラジオのスイッチを入れて夕飯を食べるまで聞いています。ラジオの中には、昔懐かしい曲が流れることがあり、とても楽しい気分です。

さて、音楽についてですが、最近の若者たちは、音楽を携帯で聞くことが多くなっています。私はもう少しいい音で聞きたいと工夫して聞いています。

音楽は、小さい頃から、特に0歳の頃から聞かせたほうが良いといわれています。単にいい曲をいい音で聞くということではありませんが、親の近くで、親の歌声を聞きながら生活をしていくことも最高です。特に、赤ちゃんの音楽的環境は、精神発達に大きな役割を持っているといわれています。

どんなに面倒くさくても、良いものを、良い環境を整えてあげることが大切で、知らず知らずのうちに心にしみこんで、いつか大きな意味を持つようになると思っています。

この世の中には、音楽という素晴らしいものがあります。みんなで心ゆくまで楽しい音楽を聴きませんか。

音楽を聴くことで皆さんが心地よい生活を送ることができると願っています。(坂場)